

## \*平成17年度委託研究課題

### 栄養ケア・マネジメントにおける歯科の役割

菊谷 武 他10名

#### 抄録

食事を通じた栄養摂取は生命維持の基本である。とりわけ高齢者において低栄養は、タンパク質・エネルギー低栄養状態（PEM：Protein - Energy Malnutrition）と称され、免疫力を減じ、身体の機能低下を招くことから、直接的、間接的に寝たきりや死亡の原因となる。今日、このような低栄養を防ぐ取り組みとしての栄養ケア・マネジメントが注目されてきており、病院内では栄養サポートチーム（NST：Nutrition Support Team）として活動が開始されている。

歯の喪失は咀嚼機能の低下を招き、果物や野菜などの食物摂取量を減少させ、ひいては各種ビタミン、ミネラルの摂取低下を招くことが知られている。これら微量栄養素は健康維持に極めて重要であることが近年示されつつあり、口腔機能に応じた栄養指導を行うことは、健康回復・増進において大切となる。

我々は、NST稼動658施設を対象としたアンケート調査を行い、NSTの実施に際して、歯科医師の協力を期待されているものの、現実にはそのようなチーム医療はいまだ行われていないことを明らかにした。さらに、我々は、歯科医師が栄養に眼を向ける、高齢患者の栄養状態を把握する手段として、栄養ケア・マネジメントにおいて一般に用いられている主観的包括的評価表（SGA：Subjective Global Assessment）を改良し、日常歯科臨床で用いる歯科医師が注意すべき栄養問題についての評価表を完成させた。

口腔は消化器官の一部であり、口腔の健康を守る歯科医師が栄養に関わるのは当然の義務とも思われる。本報告をきっかけに、多くの歯科医師が、口腔機能の維持・回復を通じた栄養改善に取り組まれることを期待したい。

#### キーワード

栄養ケア・マネジメント， 栄養サポートチーム（NST）， 主観的包括的評価（SGA），  
口腔ケア， 口腔機能